

平成 13 年度事業計画

自 成 立 の 日
至 平成 14 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 自然塾丹沢ドン会

1 事業活動方針

丹沢が微妙に変わり始めている。ブナが枯れ、山の裸地化が進み、動物たちの生息地が狭められ、種の幾つかは絶滅の道を辿っている。山麓の里山、里地の変化はさらに大きい。風土が山麓の産業、暮らしを生み、文化を育み伝統を育てて来た。暮らしが変わり、身近な森林や農地などが減少し、生活に「うるおい」「安らぎ」を与えてくれていた自然が失われるとともに風土に裏付けられた伝統が消えた。資源や環境を浪費した工業や、経済の発展と生活の豊かさや利便性の向上を第一にしてきた結果がここにある。自然塾丹沢ドン会は、慣れ親しんできた生活様式や行動が環境に負担をかけすぎているかをまず見直したいと考える。失われたものの回復は、忘れられた暮らしにそのヒントがある。循環型社会、生物の多様性の確保、コミュニティーの回復など地域で出来る事から始めることとする。そのために子供から大人まで、一般市民から各分野の専門家まで、すべてのレベルにおける環境教育が必要と考える。環境教育は、子供たちを対象にした自然教育を行うことと捉えられがちだが自然塾丹沢ドン会は、持続可能な社会を築くための全ての行為と捉える。気付きや知ることは大事だが問題はその先にある。大切なことは自然観察、リサイクル、ビオトープといったテーマや手法ではなく、問題を解決する主体をその地域・現場に育てること、地域の主体形成である。そうした力は、実際に自分たちが、地域にある課題に積極的に取り組むことによってしか身につかない。地域はひとつの生態系であるという視点に立ち丹沢の風となり、山麓の土となり住民参加の環境まちづくりに参画する。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

里山保全事業

内容 丹沢山麓の伝統的風景の保全を図るため里山に関心のある希望者を募り、山麓の風土、産業、生産活動、生態系をともに学ぶとともに地域の自然・生態系の循環を捉えなおし、生態系に合った山麓に復元する事を目的にした自然塾を開催する。

日時 通年

自然塾蕎麦づくり (8 ~ 12 月)

自然塾麦作り (12 ~ 3 月)

自然塾稲作り (7 ~ 12 月)

場所 丹沢山麓 秦野市名古木

従事人員 それぞれ 20 人

対象者 里山に関心のある者 それぞれ 50 人

支出見込み 60,000 円

環境学習事業

内容 自然の摂理、生物の多様性、行動を学び自然に対する関心を高めるために
専門家を招いた学習・観察会を実施すると共に環境保全啓発のためのシンポ
ジウムを開催する。

ア 探鳥会

日時 7月から10月

場所 丹沢山各地

従事人員 20 人

対象 自然及び野鳥に関心のある者 50 人

支出見込み 1,000 円

イ 蛭観察

日時 7月中旬

場所 秦野市名古木

従事人員 20 人

対象 里山、棚田、蛭に関心のある者 50 人

支出見込み 1,000 円

ウ 山菜観察

日時 2月から3月

場所 秦野市名古木

従事人員 20 人

対象 自然、山菜、食に関心のある者約 50 人

支出見込み 1,000 円

エ 環境保全シンポジウム

日時 11月

場所 秦野市内

従事人員 20 人

対象 市民及び丹沢に関心のある者 200 人

支出見込み 40,000 円

丹沢山地保全事業

内容 荒れた山地の補修、維持活動を進め生態系の保全、森林保全に努める。

登山道の補修

日時 7月
場所 丹沢山地
従事人員 20人
対象 丹沢に関心のある者 登山に関心のある者
支出見込み 20,000円

文化、芸術事業

内容 山麓の風土に生まれ育った文化、芸術等を保全し、また創造性を高めるための文化・芸術作品の公開、発表の機会を設けるとともに市民の文化・芸術活動を支援する。

ア 山麓展の開催 山麓の文化、芸術に関心のある者から絵画、彫刻、写真、工芸作品等を募り展示会を開催する。

日時 11月
場所 秦野市内
従事人員 20人
対象 市民 文化、芸術に関心のある者
支出見込み 20,000円

イ 焼き物教室の開催

日時 通年
場所 秦野市内ほか
従事人員 10人
対象 文化、芸術活動に関心のある者
支出見込み 20,000円

支援事業

内容 他の団体が開催する環境保全に関する勉強会等の活動に対して、環境保全についての知識や経験を有する者を講師として派遣する。また、環境保全活動を行う団体等に対して当該団体が発行する環境に関する出版物の企画等について相談を行う。

日時 通年
場所 秦野市内ほか
従事人員 延べ20人
対象 環境保全活動を行う団体等
支出見込み 40,000円

13年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算

自 平成 13 年 9 月 11 日

至 平成 14 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人自然塾丹沢ドン会

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 収入の部		
(1) 会費収入	200,000	2,000×100人(会員)
	40,000	10,000×4 (賛助会員)
(2) 事業収入		
里山保全事業収入		
参加費	75,000	@500円×50人×3回
環境学習事業収入		
探鳥会参加費	25,000	@500円×50人
蛭観察会参加費	25,000	@500円×50人
山菜観察会参加費	25,000	@500円×50人
環境保全シンポジウム		
参加費	100,000	@500円×200人
文化芸術事業		
山麓展参加費	10,000	@500円×20人
焼き物教室参加費	10,000	@500円×20人
支援事業		
派遣収入	40,000	@2,000円×20人(交通費等 実費)
当期収入合計(A)	550,000	
設立準備金	303,604	
収入合計(B)	853,604	

2 支出の部		
(1)事業費		
里山保全事業		
自然塾開催	60,000	講師謝金 10,000×3回 消耗品 30,000
環境学習事業		
探鳥会	1,000	講師交通費
蛭観察	1,000	講師交通費
山菜観察	1,000	講師交通費
環境保全シンポジウム	40,000	会場借料 20,000 通信費 10,000 資料作成 10,000
山地保全事業		
登山道の補修	20,000	補修材 20,000
文化・芸術活動		
山麓展の開催	20,000	会場借料 10,000 消耗品 10,000
焼き物教室	20,000	材料費等 10,000 消耗品 10,000
支援事業	40,000	派遣旅費 2000×20人(交通費)
(2)管理費		
通信費	216,000	会報発送費(12回×90円×200人)
インターネット関連費	100,000	維持費 プロバイダー契約 更新料
当期支出合計(C)	519,000	
当期収支差額(A)-(C)	31,000	
次年度繰越収支差額 (B)-(C)	334,604	